

『経営と現場をつなぐ 経営戦略実践講座』

第1回 講座ダイジェスト

実施日 : 2017年11月7日(火) 9:00-16:45 @丹後・知恵のものづくりパーク内 研修室

参加人数 : 8名 (1名欠席)

担当講師 : 学校法人産業能率大学 秋島先生

§ 講義内容

1) はじめに (オリエンテーション)

今回の全3回の講座の目的と展開について紹介しました。3日間の講座を通して皆様には、意識して物事を観る、ことをお伝えしていきます。その為に必要な、幾つかの切り口や視点を提供していきます。

第1回は「・自社を取り巻く環境変化への対応・自社の強み・マネジメントの基本的な考え」の3点を考えていきます。受講される皆様には、ご自身が考える研修の目的について訊ねていきました。

受講者からは、「経営するとは何か?」「これまで自身が営んできた経営がどうなのか?」など。こうした受講者の研修に対する目的を踏まえて、今回の講座進めていきます。

2) アイスブレイク・他己紹介

事業を担う人として3つのワーク(ヘッドワーク、フットワーク、ネットワーク)を意識しながら、それぞれを深めていくことの大事さをお伝えしました。そして、ご自身が考える3つのワークを言葉で考えていただきました。

またご自身のことを他人に紹介してもらった「他己紹介」にも取り組んでいただきました。自身のキャッチフレーズを考えて、全体に印象を残すようなことも、経営を担う人として大切であることをお伝えして、課題に取り組んでいただきました。

3) 自社を取り巻く環境変化への対応

企業を取り巻く環境変化のキーワードを確認していきました。従来のやり方や考え方に固執するのではなく、新たな考えを持ち続けていくことの必要性が出ています。現在の経営では成熟した時代だからこそ、未来への意義を見出して実行する「Why、Whatのマネジメント」が重要になっています。こうした変化の激しい環境に対して、敏感になることもお話ししました。社会の変化や現場の様子をいかに見て、感じる事が出来るか?自分自身が納得できるかどうか?の目診力を磨くお話ししました。自問自答するときの様々の視点として、虫の目(現場を見る)、鳥の目(高いところから広くみる)、魚の目(流れを見る)や獣の目(虎視眈々と他社と比較して見る)ことで、自社の経営課題を見出す話をしました。

また最近の情報は、玉石混合なので、持っているだけではダメです。集めた情報をいかに活用するか、InformationからIntelligenceにトレンドにあった鮮度の高い情報に関連づけて見極める力が求められているのです。

経営では、情報力を上げていくことが重要です。その為にも、収集した情報を体系的に整理し、有効活用していくことを確認していきました。

4) 自社の強み

現状を把握するために、自社の状況を掴むことが重要です。SWOT分析についての紹介(テキスト P27)もしましたがその中でも、今回は自社の強みを考えるためのヒントとして、Q(品質)C(価格)D(納期)S(サービス)などの観点をお伝えしました。また、自社の強みが他社に与える印象やその強みを活かすこと、弱み(課題)から改善のチャンスと捉えていくことなどもお話ししました。ここでは、「自社を売り込むために1分程度で業界外の相手に伝える」ワークに取り組んでいただきました。

5) マネジメントの基本的な考え

経営活動を担う上で、ベースとなるマネジメントの考え方を見てきました。

マネジメントを行う目的は経営資源（＝人・もの・カネ・情報・時間）の有効活用であり、人が活動の中心になって（＝人を通じて）、マネジメントサイクル（PDCA サイクル）を循環させることなのです。さらに、具体的に現場で発揮するためにマネジメントスキルについて掘り下げていきました。特に、経営者である受講者には、コンセプチュアルスキル（概念形成能力）、ヒューマンスキル（対人能力）を磨いていただきたいこともお話ししました。

尚、概念形成能力とは「これは、つまり・・・ということ」つまり、「まとめる能力」です。

マネジメント活動を理解するために、全体図（テキスト P39）を説明しました。企業の目標達成と組織の活性化に向けて、リーダーシップを中心に他者とコミュニケーション取りながら、様々な課題を解決していく考え方は、こうしたマネジメントの考え方を理解することは“事象を分けて捉え直すこと”であり、より理解が深まり“わかる”ようになるのです。また、組織の原理・原則について、組織の3要素（①共通の目的 ②貢献しあう意欲 ③コミュニケーション）をお話しました。

マネジメントの理解を深めるために、15問の設問討議をグループで行いました。一人ひとりが持つ、マネジメントに対する考え・価値観を踏まえて、グループメンバーと討議し合うことで、お互いの考え方を知り、また自分との違いを知ることで、考え方をすり合わせていく経験をお持ち頂きました。今回のワークでは「マネジメント」という曖昧な言葉を、参加者同士が話し合いを通じて理解を深めていくことは、経営活動において重要です。（コンセプト・クラリフィケーションテスト演習）

■ 次回の課題

今回の会合で紹介しました SWOT 分析を、自社に置き換えて考えていく課題を課しました。

次回の会合当日に準備、ご持参いただきます。

以上